

# 市長とのタウンミーティングにおける市民意見及び市の対応方針

資料番号 3

	市民意見の概要	市の回答・対応方針	改訂版への記載の追加・修正
1	改訂版の概要説明では良い方向のものばかりで、廃止していく取組はほとんどなかった。 廃止する取組はあるのか。	新しい事業を行っていくためには、財源が必要となるので、プランには既に取り組んだサービスセンターの廃止をはじめ、さまざまな財政健全化の項目を記載し、取組みを進めている。	プラン改訂版(P41～P46)に財政健全化の取組を記載しており、意見による追記・修正はありません。
2	国連加盟国が推奨しているSDGsの取組みは、持続可能な社会をめざすものであるが、市としてはどのような取組みを行おうとしているのか。また、それが和泉創発プランであるべきではないか。	まず、和泉市が持続発展可能な自治体となることが重要で、一例を挙げれば、公共施設マネジメントの取組として、少子高齢化や人口減少社会を迎える中で、学校施設や市営住宅をはじめとした公共施設について、今後25年間で延床面積を30%縮減を進め、公共施設の最適配置や財政健全化に向けて、取り組んでいる。	プラン改訂版(P27～P31))に公共施設マネジメントの取組を記載しており、意見による追記・修正はありません。
3	「リサイクルプラザ彩生館の廃止」が予定されているが、これまで彩生館は環境問題にしっかりと取り組んできており、おもちゃの病院、いずもくなどの木工教室、家庭から出る不用品の再生、放置自転車の再生を行い、シルバー人材センターに登録している方がたくさん働いている施設である。稀にみる環境学習の場であるが、廃止は取り消しになる可能性はあるのか。決定事項なのか。	リサイクルプラザ彩生館については、これまでごみ減量・リサイクルの啓発促進に大きな役割を担ってきたが、近年ではリサイクル事業者も進出しており、市としては令和5年度末をもって廃止をする方向である。 廃止に関する最終決定については、議会での議決が必要となる。	プラン改訂版(P43) 財政健全化の取組「17.リサイクルプラザ彩生館の見直し」の項目があるが、社会情勢の変化により、リサイクルを生業とする民間事業者が多く出店し、市が不用品を売買する場を提供する必要性がなくなっており、意見による追記・修正はありません。
4	(仮称)富秋学園の整備スケジュールはどのようになっているのか。また、その他の整備についても、「想定」のスケジュールでしか説明がないが、確実にこの年度にこの事業をするといった説明が欲しい。	(仮称)富秋学園の整備については、令和7年度から令和8年度で建設工事を行い、令和9年度に開校予定である。 また、富秋中学校区等のまちづくりについては、市営住宅の集約建替えなど、長い期間をかけて行う事業であり、財政的な面においても議会の承認を必要とするので、現時点においては、この年度にこの事業を確実に行うと言えない。	プラン改訂版(P30)に「富秋中学校区等まちづくり構想の推進」を記載しており、想定スケジュールも記載していることから、意見による追記・修正はありません。

	市民意見の概要	市の回答・対応方針	改訂版への記載の追加・修正
5	(仮称)池上プレイステージが魅力的に感じたが、それ以外はあまり魅力を感じなかった。 若い年代が定住するような施策をすべきではないか。	若い世代の定住促進策としては、「子育て・教育の充実」が最も重要であると認識しており、「産婦健康診査の拡充」や「こども医療費助成の拡充」を既に実施しており、今後は更に学力向上につながる教育環境の充実もすすめていく。	プラン改訂版(P21)に「1.こども医療費助成拡充事業」、(P22)に「7.学力向上推進事業」を記載しており、意見による追記・修正はありません。
6	概要説明のスライドには、南部地域の取組みがあまりなかったように思うが、具体的な取組みはあるのか。	南部地域の活性化については、移住定住施策として、南部地域限定で移住定住補助金を創設し、今年度から取組みを進めている。 また、スライドには記載していなかったが、青少年の家をリニューアルするとともに、現在大阪府が行っている周辺整備と併せて、賑わいの創出に繋げていきたいと考えている。	プラン改訂版(P24)に「35.南部地域等活性化事業」、(P22)に「15.青少年の家活性化事業」を記載しており、意見による追記・修正はありません。
7	北信太駅前整備に関連して、魅力あるまちにするには改善すべきではないか。 ①駅が汚い。色が剥げていたり、さびている。 ②地下道が非常に汚い。 ③バス道から駅に通じる道が汚い。	①駅の清掃はJRと共同で進めていくよう調整したい。 ②地下道については、将来的に自由通路も整備し、閉鎖する予定である。 ③現地も確認しながら、美化に務める。	プラン改訂版(P24)に「38.北信太駅前整備事業」を記載しているが、意見による追記・修正はありません。
8	街路樹や緑が少なく、緑があるとジョギングをしようという気も起きるのではないかと。落ち着きがあり、やすらぎのあるまちづくりをお願いしたい。	本市でもこれまで、「いずみいのちの森事業」として、10年間で18万本の植樹をする取組みを行い、目標を達成した。今後はこれらを保全する取組みを行っていく。 また、現在、信太山丘陵においても里山自然公園の整備を進めており、緑の保全も進めている。	プラン改訂版(P24)において、「40.信太山丘陵里山自然公園整備事業」、(P25)に「45.いずみみどりの共生事業」を記載し、今後も緑化活動を推進していくこととしており、意見による追記・修正はありません。

	市民意見の概要	市の回答・対応方針	改訂版への記載の追加・修正
9	和泉創発プランの改訂について、他市の計画を参考にしたり、桃山学院大学の関係者など外部の方々からも意見を徴取して取り組む必要があるのではないか。	和泉創発プランの策定にあたっては、他市の行財政計画も参考にしながら作成している。 また、意見徴収についても、10月17日から市ホームページや市内各図書館などでパブリックコメントとして、この計画に対する市民からの意見を募集しているので、ご意見をいただきたい。	プラン改訂版の内容について、意見による追記・修正はありません。
10	スライドの作成について 観光PR大使などにナレーションをしてもらって、手話通訳についても動画にすればよかったのではないかな。	貴重なご意見を頂戴し、今後の参考にさせていただきます。	プラン改訂版の内容について、意見による追記・修正はありません。
11	プランの全てが実現したらすばらしい街になると思う。 移住定住については、バスで来てもらって、実際に見てもらって、移住する人には無償で住宅を貸すくらいのはしないといけなのではないか。移住者が増えている自治体の研究をしているのか。	移住定住施策として、南部地域限定で移住定住補助金を創設し、今年度から取組みを進めている。 空き家の利活用についても、定住施策につながるよう取組みを進めており、他市の事例についても調査・研究をして取り組んでいる。 また、人口減少対策としては、現在、和泉市に住んでいる市民に対して市税を投資することが必要であり、こども医療費助成の拡充や学校給食の自校式調理も本市の魅力の一つである。	プラン改訂版(P24)に「35.南部地域等活性化事業」、(P21)に「1.こども医療費助成拡充事業」、を記載しており、意見による追記・修正はありません。